

リスクアセスメントって??

リスクアセスメントとは

労働災害防止のための取組のひとつで、職場に潜む問題を見つけ対策する一連の手順のこと。

- ①作業上のリスクが明確になる、②対策の優先順位を合理的に決めることができる、③職場全体で参加・共有することで危険に対する感受性が高まる、などの効果が期待できます。

とは言っても...



聞いたことあるけど何やら難しそう言葉が並んでいるし...

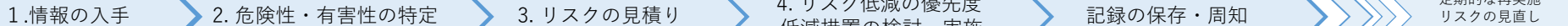
調べてみるとページや文字の多いサイトが多くって...

はじめようと思っても勉強する時間がちょっと...

そんな方々に向け

このシートでは、流れとイメージを簡潔に！わずか1枚に！まとめています。この内容でリスクアセスメントのすべてを理解する必要はありません。雰囲気や掴んでもらうことで、今後の安全管理の一助になれば幸いです。

リスクアセスメントの基本的な流れ



定期的な再実施
リスクの見直し
措置の改善 など

1. 情報の入手

まずは次のような情報から危険源を探します

- マニュアル
- 取扱説明書, 仕様書
- 安全データシート
- 危険予知訓練(KYT)
- 作業員からあがった不安の声
- 過去に発生した労働災害

取扱説明書に書かれている注意事項も確認してみようかな



危険源とは、災害を生じさせるものや状況のこと。
例えば...

- ・吊荷落下のおそれのあるクレーン(またはその作業)
- ・転倒のおそれのある濡れた床 など

2. 危険性・有害性の特定

1で収集した情報から発生しうる災害を想定します

- ・～～するとき～～して～～する
- ・～～するとき～～なので～～になる

という形で書き出してみましょう

例えば...

- ・天井クレーンで製品を吊上げるとき、玉掛けに使用したワイヤロープが破断して製品が落下し、死亡する。
- ・工場内で出荷準備中に、ホームの床が濡れていたため足が滑って転倒し、捻挫する。 など

他業種の事故事例や事故の型を見てもヒントになることがありそうね!



事故の型

- ・転倒
- ・激突
- ・感電
- ・爆発
- ・破裂
- ・火災
- ・墜落・転落
- ・飛来・落下
- ・崩壊・倒壊
- ・激突され
- ・切れ・こすれ
- ・踏み抜き
- ・おぼれ
- ・はさまれ・巻き込まれ
- ・動作の反動・無理な動作
- ・高温・低温物との接触
- ・有害物等との接触
- ・交通事故(道路)
- ・交通事故(その他)
- ・その他/分類不能

3. リスクの見積り

2で特定した内容を**頻度**+**可能性**+**重篤度**ごとに点数化しその合計で評価します

ここでいう頻度とは、「作業を行う頻度」ではなく「作業を行う際に危険性に近づく頻度」を指します

	点数	評価の内容	
頻度	頻繁	頻度 1日に数回。頻繁に立入る・接近する	
		状態 突然に、不意に、予期せず、無防備の状態で立入る・接近する	
	時々	頻度 1日に1回程度。トラブル・修理・調整等で立入る・接近する	
		状態 一定のルールの基でこれを遵守しながら立入る、接近する	
	減多にない	頻度 週に数回。一般的に危険領域に立入る・接近する必要は殆どない	
		状態 立入りあるいは接近が事前に判るので周到に準備した上で実行する	
可能性	高い	ハード 安全対策がされていない。表示・標識はあっても不備が多い。	
		ソフト ルールを守っていてもよほど注意を高めていないと災害に繋がる。	
	やや高い	ハード 防護柵やカバー等の安全装置がない。あったとしても相当不備がある。	
		ソフト ルール, マニュアルを守りにくい。注意していないと怪我に繋がる。	
	やや低い	ハード 安全装置はあるが不備がある。危険性と接触を否定できない。	
		ソフト ルール, マニュアルを一部守りにくい。気を抜いていると怪我に繋がる。	
低い	ハード 安全装置が設置され、危険領域への立入り・接近が困難。		
ソフト ルール, マニュアルは整備され守りやすい。特別な注意の必要がない。			
重篤度	致命傷 9	死亡や永久的労働不能になるケガ	
	重症 6	障害の残る、又は長期療養が必要なケガ	
	軽傷 3	完治可能だが短期間の休業が必要なケガ	
	軽微 1	手当て直ちに元の作業に戻る微傷なケガ	
リスクレベル	合計	評価	基準
V	14~20	直ちに解決すべき問題がある	直ちに中止または改善する
IV	12~13	重大な問題がある	優先的に改善する
III	9~11	かなり問題がある	見直しを行う
II	6~8	多少問題がある	計画的に改善する
I	3~5	必要に応じて低減措置を実施	残留リスクに応じて教育や人材配置

この判定基準は一例です。リスク見積りのばらつきを少なくするためにリスクアセスメントの実施を重ねるとともに判定基準を自社の実状を踏まえた分かりやすいものにする等の工夫をしてください。

4. リスクの低減措置の検討

3の評価に応じて、次のような対策を講じます
※法令に規定されている対策は最優先で講じましょう

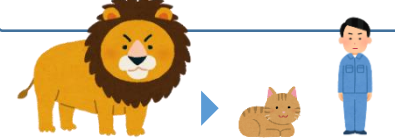
高

低減措置の優先順位

低

作業の変更・廃止

作業の変更・廃止、より安全な方法への変更
危険性・有害性の低い材料への代替 など



工学的対策

ガード、インターロック、局所排気装置の設置



管理的対策

マニュアルの整備、立入禁止措置
ばく露管理、教育訓練等



保護具の着用

マスク、ヘルメットなどの保護具の着用



実践編

オモテ面で確認した内容に沿って実践してみましょう（このシートは今後のリスクアセスメントシートとして使用できます）

作業名 (使用する機械 など)	危険性・有害性と 発生のおそれのある災害	既存の災害防止対策	リスクの見積り				リスク低減措置	措置実施後の リスクの見積り				対応状況、残留リスク、 次年度の検討事項 など
			頻度	可能性	重篤度	リスク レベル		頻度	可能性	重篤度	リスク レベル	
例 クレーン作業 (吊上げ荷重3tの 天井クレーン)	天井クレーンで製品を吊上げる とき、玉掛けに使用したワイヤ ロープが破断して製品が落下し、 死亡する。	ワイヤロープの廃棄基準を作成 し、毎月点検する。	2	4	9	V	①吊荷を重量別に色区分し、それに対 応してワイヤロープを色区分する。 ②色区分を誰でもわかるように掲示す る。	1	1	9	III	(次年度の検討事項) 点検責任者の選任と必要な指導を行う ワイヤロープの廃棄基準を見直す
例 梱包、運搬作業 (手作業)	工場内で出荷準備中に、ホーム の床が濡れていたため足が滑っ て転倒し、捻挫する。	防止対策未実施	4	4	3	III	①床が濡れている場合は、すぐに拭き 取るようにする。 ②耐滑性安全靴を着用する。	1	2	3	II	(次年度の検討事項) 荷の移動用として台車を導入する(次年度予算)

職場のあんぜんサイト
リスクアセスメント情報



RAのさらに詳しい内容や
関連サイト、参考動画を掲載！

職場のあんぜんサイト
労働災害事例検索



事故事例を図解付きで掲載！
業種・事故の型・起因物など
から事例検索もできます

職場のあんぜんサイト
リスクアセスメント実施支援システム



作業名、起こりうる災害、対策の選択だ
けで、自動でリスクの見積りがされます。
まずはココから初めてみて◎